

アクセスを高めることができました。このことは、次の世代に伝えていくきっかけにもなると思います。この資料群の性格から、可能なものは電子化して市外にも広く情報発信することが望ましいのではないかと思います。

アンケートについては、結果を踏まえ、市民の声をどのように反映したかをわかりやすく示せると、より市民の関心が高まると考えます。

全体的には、実施に伴う苦勞、困難もあったと推察されますが、精一杯知恵を出して事業を行っているとは評価します。

////////////////////////////////////

基本方針 3 西東京市の文化・歴史を次世代に継承する A

地域・行政資料コーナーを利用しやすく改善されたことを評価します。地域行政資料については、市立図書館が責任をもって収集・保存・提供する責務があります。社会教育課と連携しつつ、さらなる構築に期待したいと思います。

図書館ホームページで「西東京市縁（ゆかり）の方の紹介」の情報を更新していることを評価します。一方、「縁」コレクションについては、館内でももう少しわかりやすい（目立つような）展示を工夫できるのではないかと思います。また、縁資料の収集基準は難しいことと思いますが、地元にもっと親しみを持てる切り口があってもよいと思います。

////////////////////////////////////

基本方針 4 未来を担う子どもの読書活動の支援 A

子ども電子図書館については、いろいろな意見がありました。たとえば「読書のきっかけにしようとする取り組みは、高く評価できるし今後も重点的に進めていただきたい」という意見がある一方、「本がたくさんあるところこそ見える本の広がりや魅力、手に取ってみたいことを常に意識して働きかけをしていただきたい。電子図書館があるから読書環境は安心というような感覚を大人が持ったら子どもの不読率は上がる一方でしょう。」という意見もありました。

すでに実施されている事業であり、サービスの定着に向けた継続的な工夫をするとともに、紙媒体の利用とのバランスを考え、総合的な読書活動向上に資することを望みます。また、電子書籍の子どもへの提供には、それぞれの発達段階を考慮する必要があると考えます。

わらべうた講座など乳幼児を対象としたサービスから、YAサービスまで積極的な働きかけをされていることを評価します。絵本と子育て事業も、課題を解決すべく、毎年改善策が講じられており、未だ試行錯誤段階のようですが今後の展開を期待したいと思います。

「おでかけおはなし会」の行き先や開催時期については十分な検討をお願いします。

学校との連携では、「本町小学校 de ビブリオトーク」の事業など興味深い活動があり、今後も継続されることを期待します。調べ案内（パスファインダー）を作成し、電子図書館

に掲載したことは大いに評価したいと思います。

////////////////////////////////////

基本方針５ 地域、行政と連携した図書館サービスの向上 A

武蔵野大学との連携事業では、学生ボランティア参加事業が加わる等、積極的な取り組みが行われたことを評価します。

音訳ボランティアの技術向上のための専門研修などの企画も、大変有意義だったと思います。今後も計画的に進めて行くことを期待します。

「まちなか先生」事業を広範囲に展開していることも評価しますが、そのプログラムが各学校の教員に広く周知されているのでしょうか。もし広報が不十分ならば、その連携方法をさらに工夫して欲しいと思います。

全体的には、地域に根ざした図書館として、市内の大学や小中学校、市民や団体と連携し、図書館事業の拡充を進めることが出来ていると評価します。

////////////////////////////////////

基本方針６ 効率的・効果的な運営体制の構築 A

中央図書館の開館時間を拡大し、利便性を向上できたことは大いに評価します。今後、費用対効果の検証も必要でしょう。

研修動画視聴などの工夫ができたことは良かったと思います。利用者へのサービス向上のためにも知識の共有は必要なことであり、より多くの職員が参加できる研修を積極的に進めていくことが望まれます。

民間の児童書関連の研究会や東京子ども図書館が開催する研修などに参加希望する職員がいた場合、補助をつけるなど、より広い視野に立った研修を系統的に受けられる仕組みを検討していただきたいと思います。

研修は、職員間の信頼関係（集団の中で自己実現できる環境）の構築のために必要であり、組織力のレベルアップに繋がります。より重要視していただきたいと思います。

次期図書館計画の策定は、今後の西東京市図書館構想を描くうえで大変重要なことでした。しかしその構想を市民に広く周知するためには、今後さらに積極的な広報活動を行うことが必要になるだろうと思います。また、正規職員の司書配置、直営図書館ならではの長期的視点と市民に信頼される図書館運営を今後も責任を持って続けていただきたいと考えます。